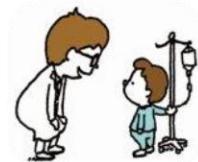


# 小児がんセンターたより

## 憧れの小児外科医



私が黒田達夫先生に初めてお会いしたのは、小児外科学会のセミナーでした。まだ駆け出しの小児外科医であった私は、当時国立小児病院にお勤めだった黒田先生のご講義を拝聴し、その分かりやすい内容に感動したことを今でも覚えております。

時は流れて25年。黒田先生が神奈川県立こども医療センターの総長にご就任されると伺ったとき、「ついに憧れの先生が身近にいらっしゃる」と心から楽しみに思いました。

この25年の間に黒田先生は慶應義塾大学小児外科教授としてご活躍され、日本小児血液・がん学会、日本小児外科学会の会長など、まさに獅子奮迅のご活躍をなさいました。日本の小児がん、小児外科を牽引されてきた、トップランナーとしてのご生涯だったと思います。

こども医療センターご着任後もそのエネルギーは衰えることなく、患者・家族の会である肝芽腫の会にも積極的にご参加いただきました。その中でも印象的だったのは、難しい専門用語に頼ることなく、誰にでも理解できる、しかし非常にインパクトのあるお話をされていたことです。「患者さんやご家族にも、ずっとこのように向き合ってこられた先生なのだ」と深く感じました。黒田先生のお話に感銘を受けたお母さんの涙は忘れられません。

私が総長室に伺うと、いつも丁寧に応対してくださり、威圧感や高圧的なところは一切なく、「自分もこうありたい」と心から思いました。昨冬の国際小児がんデーの横浜駅でのイベントで、プラスバンド演奏に合わせて踊ってくださったお姿は、先生のお人柄をさらに象徴するものでした。

その憧れの黒田総長が、10月4日にご逝去されました。もっともっと、小児外科、小児がんのことを教えていただきたかった。悔しい思いが尽きません。

黒田先生、長い間、本当にお疲れ様でした。  
どうか、ゆっくりとお休みください。

# 夏休み公開講座

## ～もっと知ってほしい、小児がんのこと～

2019年を最後にコロナ禍の影響により休止していた「夏休み公開講座」が、2025年に6年ぶりに開催されました。この講座は、小児がんについて一般の子どもたちに関心を持ってもらうことを目的に企画されたもので、病気への理解を深めるとともに、命の大切さや医療の現場について楽しく学べる内容となりました。患者さんのご家族やごきょうだいの他、地域の小中学生が多く参加され、小児がんのことを見てもらう機会となりました。今後も夏休み期間に年1回のペースで開催していきたいと考えています。

※詳しくは小児がんセンターHP参照



小児がん経験者のお話し



顕微鏡で細胞を観察



ご家族によるレモネードスタンド



術衣を着て手術体験！



額帯鏡は患者さんの手作り！



内視鏡も体験！

### 「小児がんセンターより研修会などのお知らせ」

#### ●2025年度小児がん相談支援室セミナー

「長期フォローアップ～経験者の語り～」

2026年1月24日（土）

14:00～16:00

#### ●小児がん啓発イベント

2026年2月14日（日） 12:00～15:00

新都市プラザ（横浜そごう地下） ※内容企画中！

※詳しくは、小児がんセンターHPにてご確認ください



横浜市によるメタバース体験

# 希望の光を未来へ～ゴールドセプテンバー2025～

9月は世界小児がん啓発月間です。

ゴールドの光には、子どもたちの未来を照らす希望が込められていることから、全国各地でゴールドのライトアップキャンペーンが行われました。

当センターは今年は病院独自のイベントとして、正面玄関前のもみじの木を金色に彩るライトアップセレモニーを行いました。

夕暮れの空の下、ゴスペル合唱の力強い歌声が響き渡り、続いて職員によるプラスバンド演奏が会場を包みました。カウントダウンの合図とともに、子どもたちが手作りしたキャンドルが灯され、温かな光がゆらめきます。点灯の瞬間、もみじの木が金色に輝き、入院中の子どもたちやご家族の笑顔が広がりました。このイベントを通して、

「小児がんのことをもっと知ってもらいたい」「応援の輪を広げたい」という思いを共有する時間となりました。ご参加・ご協力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。



ゴスペルのハーモニーで開会



故・黒田達夫総長のご挨拶



Swing For Kidsも大盛況



こども達もスイッチオン！



こども達が作ったキャンドルも点灯



先生達もダンスを披露！



JCCG（日本小児がん研究グループ）の今年のイベントはこちら



小児がんに関連したご相談は  
「小児がん相談支援室」（本館1階7番窓口）  
までご連絡ください

時間：平日（月～金）8：30～17：00

相談方法：面談・電話・メール

電話:045-711-2351（代）

✉ shounigan.1591@kanagawa-pho.jp

# 各部門からのお知らせ

## ～作業療法科～

当院では入院をしているお子さんや、ご家族の皆さんに病気の治療だけでなく、心と身体のリフレッシュを感じて頂けるよう様々なイベントを行っています。その一つが5南病棟で行っている「リハパーク」というイベントです。リハパークは経過の中で形を変えながら、今は作業療法科が企画し、多職種の協力を得て毎年行っている行事です。現在はハロウインイベントの中の一つになっています。

入院中でも季節を感じ、身体を動かしたり、創作を楽しんだりすることで、お子さんの体力づくりや発達の支援につなげたいという思いから始まりました。お子さんたちにとって、治療以外の時間に「わくわく」や「笑顔」が生まれる大切な機会となっています。

作業療法士が関わることで、お子さんの年齢や身体機能、発達の状況に合わせ、無理なく楽しめるプログラムを提案しています。事前の準備から当日まで保育士と連携し、お子さん一人ひとりが安心して参加できるように関り、環境設定を工夫して成功体験につなげ、お子さんやご家族の笑顔を引き出すよう丁寧に関わっています。

現在ではこの取り組みが施設内にも広く認知され、保育士、医師、看護師、理学療法士、CCS、などの多職種が協力し合いながら開催する行事となりました。リハパーク当日だけでなく、棟内を装飾したり、フォトブースを設けたり、1週間ハロウインを楽しめる空間を提供しています。それぞれが思いおもいの仮装をしたり、作った物を身に着けたりしてプログラムに取り組み、病棟全体が優しい笑顔と、温かで楽しい雰囲気に包まれる時間です。

お子さんやご家族の入院生活が少しでも明るく、安心して楽しく過ごせる時間を作っていくことができるよう、今後も作業療法の専門性を発揮し、多職種と連携して継続的な支援を考えていきます。

作業療法士 山崎 雅美



地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
神奈川県立  
こども医療センター  
Kanagawa Children's Medical Center

### 【発行元】

神奈川県立こども医療センター小児がんセンター  
〒232-8555 神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4  
TEL : 045-711-2351 (代)  
Email:shounigan.1591@kanagawa-pho.jp